

あたご棟 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	3	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・グループホームあたご桜花では、「認知症の方が住みなれた地域の中で、ともに命をいつくしみ、人間らしく、自立した生活を安全に営むことができるよう、心をこめて支援いたします。」という独自の理念を作っている	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念を掲示し入居者様の自立支援を目標に職員全員が理念を共有して取り組んでいる。 ・月に1度のミーティングで理念に基づいた日々の取り組みができるよう話し合い実施している。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・入所時にご家族や入所者様に理念を理解してもらえるように説明している。 ・玄関に掲示しているが地域の人々には働きかけはできていない。	1	・地域運営推進会議の中で地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいく。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・散歩の際に隣近所の人に挨拶をしたり、逆に声をかけてもらったりしている。隣接している保育園とは日常的なお付き合いができています。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域運営推進会議を通して地域との連携を深め清掃活動や子供会の廃品回収・地域フェスタに入居者様と一緒に参加している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営推進会議の際に地域の高齢者の情報等を聞いたりしている。 ・勉強会に地域の方達に参加してもらっている。 	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の結果を全職員に報告し評価の内容についての改善に取り組んでいる。 ・地域運営推進会議で外部評価の結果を報告し緊急時の協力等を呼びかけている。 	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営推進会議では行事内容や活動内容を報告し参加された方々の意見交換をしてる。その意見を参考にし実際の業務に活かしている。 ・外部評価の結果を報告し、地域の方の協力を求めている。 	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない事等があると問い合わせや相談をしている。 	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学んでいる。 ・過去に成年後見制度を利用された方がいる。また、現在手続き中の入所者様がいる。 	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して高齢者虐待防止関連法を学んでいる。また、施設内で虐待が起きないように注意を払い防止に努めている。 	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・必ず事前に面談をし、契約書や重要事項説明書等の十分な説明を行い理解、納得を得ている。 ・ご家族や入居者様のお話も十分に聞いている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・入居者様の意見や不満等については常に耳を傾けご家族に報告したりミーティングで話しあったりして改善に取り組んでいる。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・異常や問題があればすぐにご家族に報告し対応と一緒に検討し支援している。 ・介護計画書の説明時や来訪時、または電話連絡で報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・契約書や重要事項説明書に内部、外部の苦情の窓口を記載し、説明している。また、苦情受付担当を決め苦情箱を設置している。 ・ご家族来訪時に意見や不満がないか声かけを行い改善に取り組んでいる。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・ミーティングや個別の面談、または懇親会等で意見や提案を聞く機会を設け反映している。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・勤務の調整をして管理者が毎月勤務表を作成している。 ・受診時や行事の時等に職員の数を増やしたり対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・馴染みの職員が退職した際は入居者様に説明を行い対応した。異動は行った事はないが入居者様に説明をする等して配慮する準備がある。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	2
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・年齢不問で募集を行っている。現在十代から六十代までの幅広い年齢層の職員体制である。六十代の方は夜勤の回数を減らして働きやすくする等の配慮をしている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・業務中に言葉使いや接する態度等気付いた事があれば注意している。 ・人権研修をしている。	1	・定期的な人権に関する勉強会や研修会を実施する。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新人職員の育成マニュアルを作成して実行している。・年間の研修計画を作成している。市の実践者研修・リーダー研修等段階の応じて受講させている。・行事の企画、運営を任せ、業務に関しても意見を求めたりして育成に取り組んでいる。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・分からない事があれが他の施設に問い合わせをしたり研修の機会等に情報交換をしている。	1	・地域のグループホームと交流実習の計画を立てていたが、職員の退職などで、まだ実施に至っていない。今後機会があれば取り組みたいと考えている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・懇親会や忘年会等を開催している。・2年に1回社員旅行を実施している。・職員を1ユニット常勤8名とし、有休等がとりやすいゆとりある職員体制になっている。・休憩室は冷暖房完備の和室で休憩時間は横になり休む事もできる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・人事考課や個人面談を行い業務目標を設定してもらい評価を行う事で向上心を持って働けるように努めている。 ・職員の資格取得へ勉強会を行う等バックアップを行う事で向上心をもてるように努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に必ずご本人との面談の機会を設け入居者様の把握に努めている。また、見学も行っている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・施設見学時や入居相談時には、十分な面談時間を取り、ゆっくり話を聞くようにしている。又、介護で頑張っていることに、必ずねぎらいの言葉かけをするように心がけている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・何も分からずに相談に見えた時には、まず介護保険制度について説明している。また、施設が在宅か迷われている家族はよくお話を聞き、在宅で可能であれば近隣のケアマネジャーに繋いでいる。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・お試し期間を設けたり、入居当初はできるだけご家族の来訪の機会を増やして頂く等している。 ・同じ敷地内のデイサービスを利用している。	0	
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0
	係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・料理や掃除等家事を通して入所者様から学んだり、支えあう関係作りができています。 ・外出や行事を職員と入居者様が共に過ごしたり、日常的に寄り添う事で喜怒哀楽を共有している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・定期的にお便りを送り日常の様子を報告している。 ・ご家族来訪時に入居者様の日常の様子を報告し入居者様にとって良い介助ができるように話しあっている。散歩や行事への参加を働きかけていく事で一緒に支えていく関係作りに努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・入所前に暮らしの情報シートに記入してもらい理解に努めている。 ・訪問を歓迎しご家族とゆっくり過ごしてもらっている。また、行事の時にご家族を招待する等して支援している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご自宅に一緒に行ったり知人の方が来訪されたら面会して頂いたりしている。また、馴染みの人との手紙のやりとりも支援している。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・入所者様同士の関係を考えてテーブルの席の配置を考えたり、一緒に手伝いをしてもらっている。また、体操や散歩、行事等に一緒に参加してもらう事で孤立する事なく入所者同士の関係を築いていけるよう職員が支援している。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他の施設を紹介したり、職員が面会に行ったりしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入所者様の希望をできるだけ聞き穏やかに過ごしてもらえるように支援している。 ・食事をパンにしたり外出には付き添いしたり買い物等の希望があれば同行し、食事や就寝等の時間もご本人の希望に添うようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所前に暮らしの情報シートに記入してもらい生活歴やサービス利用の経過等の把握に努めている。また、不明な点があればご家族や入居者様に聞き把握できるように努めている。・入所前の施設や病院の情報提供書の活用をしている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・ミーティングの時に各入所者様の状態を情報交換する等して把握するようにしている。また、細かな変化があれば個人記録や申し送りノートを活用し報告するようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・日々のケアの中で入居者様の希望を聞きご家族や各職員と相談をしながら介護計画書を作成している。 ・毎月のミーティングの中で職員から課題やケアのあり方について意見を聞き反映した介護計画書を作成している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・入所者様やご家族の希望を反映しながら介護計画書の見直しを行っている。 ・入院やADLの低下や認知症症状の進行が見られた際は見直しを行い現状に即した新たな介護計画書を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の様子やケアの実践・結果を具体的に個別記録や申し送りノートに記入し情報を共用する事で介護計画書の見直しに活かしている。 ・受診の結果を介護計画書の作成に活かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・入居前に同じ敷地内の認知症対応型のデイサービスに通所していただき、施設に慣れていただくと共に、職員がご本人を具体的に把握できるようにしている。・利用者やご家族の希望によっては、1回/月 開設病院の往診を行い、健康管理を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域運営推進会議に民生委員に参加してもらっている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・必要に応じて話し合いを行い、支援できる体制をとっている。関連病院のソーシャルワーカーや地域のケアマネージャー等への相談。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域運営推進会議を通して必要があれば協働する関係ができています。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・希望の方には、かかりつけ医に往診を依頼したりご家族の付き添いのもと継続して受診できるよう支援している。・月に一度内科の往診や皮膚科、歯科、精神科の往診を定期的に支援している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医に往診や受診を依頼し、診断や治療を受けられるよう支援している。 ・専門医による認知症勉強会を開き職員が相談できる関係作りに努めている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・施設課長が看護師として常勤し、日常の健康管理や医療活用を支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・連携している病院と情報交換や相談を行い、入退院の対応に努めている。また、入院時は必ず情報提供書にて入所者様の状態を連絡している。	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・入居者様の状態に合わせてこまめに医師やご家族と話し合いを行い方針を決定し、全員で統一した対応をしている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・医師やご家族の協力のもと、入院や他施設に転居されるまで対応した実績があり、職員間でも常に検討している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・転居や病院に入院される際には添書などを活用し情報交換に努めている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・言葉使いや対応、書類の取り扱いなどは、気付いた時に注意をしたり、ミーティングで全職員に呼びかけたり常に気を付けている。	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・個々の入居者様の状態に合わせて対応を行い、希望があれば外出したり、着る服を選んで頂いたり、何をしたいのかを問いかけながら対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・個々の入居者様のペースに合わせて、入浴の時間や予定を変更したり、体操を休んでゆっくりして頂いたり、外出や買い物の付き添いをしたりしている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・訪問理美容に来てもらったり、希望があればご家族と一緒になじみのお店に行ってもらったりしている。 ・その人らしいお洒落ができるよう、洋服や化粧品などの買い物を支援している。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・パン食やお粥にしたり、刺身が食べられない方には、焼き魚を提供したり、硬いものが食べられない方には、お好きな煮豆を提供するなど、一人一人の好みに合わせている。・毎日の日課として、料理の盛り付けや食器拭きなどを能力に合わせて行ってもらっている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒飲んだりたばこを吸われる方はいないが、飲み物などご本人の希望を聞きながら、その都度好みの物を出して対応している。また、ご家族からの差し入れ等あれば、おやつや食事時に出している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表を活用し、一人一人の排泄パターンを把握することで早めに声掛けする等支援している。 ・入居者様の状態に合わせて普通のパンツで過ごして頂いたり尿取りパットを利用したりリハビリパンツと尿取りパットを併用したりしている。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・お好きな日に入浴できるよう毎日入浴を行っている。また希望に合わせて早く入ってもらったり、遅く入ってもらったり同性介助を行ったり工夫している。また、その日の体調に合わせて入浴してもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・各入所者様が個室でベットや布団等ご本人の希望に合わせて安眠できるようにしている。また、季節毎にエアコン・加湿器による室温や湿度・寝具調節を行っている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・日々能力に合わせてお手伝いをしてもらったり、好きなテレビを観てもらったり、週刊誌と一緒に購入しに行き読んでもらったりしている。また、希望があれば外出したり、体操や風船パレーをしたり支援している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・基本的には立替による支払いをしているが、入所者様の状態によりご家族の了解があればご自分でお金を所持し買い物時支払いをもらっている。	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・本人の希望に添って毎日散歩に行ったり買い物に行く等支援している。職員から声かけをして散歩や買い物に同行してもらったりもしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族を招待してリンゴ狩りに行ったり外出に出かけたりしている。また、コスモスや紅葉見学に行ったりしている。 ・希望時には馴染みの神社に初詣に行ったり、ご家族の入院のお見舞いに付き添ったり支援している。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の希望があれば職員がダイヤルしたり、手紙のやり取りをしている入所者様には郵便局にはがきを買いに行ったり、投函したり支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	・ご家族や友人等が気軽に訪問できるように日中は玄関を開放している。また、来訪時にはお茶を出す等して居心地良く過ごせるよう努めている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・マニュアルを作成し身体拘束廃止委員会を設置し常に身体拘束のない介護を心がけている。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関は夜間以外は鍵をかけずに自由に出入りできるようにしている。お一人で外出され職員が気付かない時がある為センサーを設置し対応している。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・一人で外出する方がおられる為常に所在確認をしている。夜間は1時間置きに巡視している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じた、危険を防ぐ取り組みをしている	・はさみや爪切り等注意の必要な物品ではあるが、誰が何を持たれているのかを把握しご本人様に持ってもらっている。危険がある場合は職員で管理している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・救命講習や避難訓練を通して知識を学んでいる。・一人一人の状態に合わせて見守りや介助を行う事で事故防止に取り組んでいる。・事故防止マニュアルを作成している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・応急手当や初期対応ができるように定期的に救命講習に参加している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年に2回避難訓練を実施し、地域運営推進会議で地域の方に報告し協力をお願いしている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	・リスク等が予測される時は事前にご家族に報告し対応の仕方や状況等を話し合い支援している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・職員一人一人が常に気を付けている。異常がある時はすぐに施設課長(看護師)に報告し指示に従い対応している。 ・情報を個人記録や申し送りノートに記録し職員間で共有している。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬は毎日夜勤の職員が確認しセットしている。薬に変更がある時は、申し送りノート等を活用して申し送っている。 ・受診記録に処方箋を一緒に綴じていつでも確認できるようにしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・毎食時寒天や乳製品、食物繊維の多い食材を提供している。体操や散歩を働きかけて支援している。 ・排便がみられない時は、施設課長(看護師)に相談し下剤の調整をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の状態に合わせて歯磨きの声かけや介助をしている。また、必要な方には訪問歯科の往診を支援している。 歯科衛生士による口腔ケアをしている。 	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿の方は食事の量や糖分を加減したり、硬い物や嫌いな食べ物がある利用者には替わりの献立で提供している。 栄養バランスに注意した献立を食事係と施設課長が協力して立てている。また、時間を決め定期的に水分補給を行う事で脱水を防いでいる。 	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防についてマニュアルがありそれに基づいて実行している。MRSAやノロウイルスには実際に対応した実績がある。 職員だけでなく外部からの来訪者にも必ず手洗い、うがいをしてもらっている。 	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルに基づいて布巾や包丁の熱湯消毒、まな板の除菌を行っている。肉、魚、野菜のまな板を使い分けたり、冷蔵庫内の卵の置く場所、肉の解凍の場所を定めている。 ミーティングの時に食中毒に注意するよう指導している。 	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 入り口に看板を設置し玄関前には花壇、各棟の玄関には大きな表札を付ける等工夫している。 手すりやスロープの設置をしている。 	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> テレビの音量や照明の明るさに配慮している。 季節毎に壁飾りを替えたり、テーブルや洗面所に花を飾ったり工夫し居心地の良い空間作りに努めている。 	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファやテーブルで気の合う入居者様同士で話をしてもらったり自由に過ごしてもらっている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入所時にご家族や入所者様と相談し馴染みの家具や食器類を持参してもらおう事で安心して過ごしてもらえるようにしている。 ・家族の写真を置いている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・24時間換気をしており、季節毎に温度調整をし冬季には加湿器を使用し湿度の調節をしている。 ・温度・湿度計を設置し温度や湿度に配慮して温度調節や換気に努めている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・浴室、トイレ、廊下等に手すりを設置し自立した生活が送れるよう工夫している。また、必要な入所者様には滑り止めマットを使用する等工夫している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・日にちがわからない入所者様には日めくりカレンダーを設置し、場所が分からない入所者様にはトイレや浴室の場所が分かるように目印を設置する等して混乱や失敗を防ぐ工夫をしている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・花壇や畑があり一緒に水やりしたり収穫したりしている。4月には桜の木の下でご家族を招いて花見をしたり、8月には駐車場でバーベキューをしている。 ・中庭と建物の外周に物干しを設置し洗濯物干し場として活用している。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。